

➔ 長野西高校 平成23年度ボストン語学研修報告➔ 3/11-3/24

No.	日付	都市名	交通機関	時間	スケジュール	食事		
						朝	昼	夕
1	3/11 (日)	長野市 成田空港 成田発	専用バス DL276	6:00 12:00 14:50	長野駅東口に集合・バス2台出発 横川ISA 三好SA休憩 成田空港着 出国手続き後、DL276 便にて経由地のデトロイト空港へ向け出発 (機内泊)			機
		デトロイト着 ボストン着	DL1722 専用車	13:30 15:58 17:50 夜	《日付変更線通過》 デトロイト空港着 DL1722 便にてボストン Logan 空港へ向け出発(国内線) ボストン Logan 空港着 到着後、TALK INTERNATIONAL 担当者の出迎えを受け、専用車にて各 ステイ先へ (ホームステイ)	機		○
2	3/12 (月)	ボストン近郊 ボストン	地下鉄	午前 午後	クラス分けテスト、オリエンテーション、キャンパスツアー ボストンフリーダムトレイル(建国の歴史をたどる史跡) 散策 (ホームステイ)	○		○
3	3/13 (火)	ボストン近郊 ボストン	地下鉄	午前 午後	英語クラス(Regis College) MIT 見学・日本人院生によるガイド、(工藤朗さん、吉田紅さん、荒井慧悟 ごさん) (ホームステイ)	○		○
4	3/14 (水)	ボストン近郊 ボストン	地下鉄	午前 午後	英語クラス(Regis College) フェンウェイ・パーク見学 (ホームステイ)	○		○
5	3/15 (木)	ボストン近郊 ボストン	地下鉄	午前 午後	英語クラス(Regis College) ボストン美術館見学 (ホームステイ)	○		○
6	3/16 (金)	ボストン近郊	地下鉄	午前 午後	英語クラス(Regis College) 修了証書授与式・さよならパーティー (ホームステイ)	○		○
7	3/17 (土)	ボストン近郊		終日	ホストファミリーと過ごす (ホームステイ)	○	○	○
8	3/18 (日)	ボストン近郊		終日	ホストファミリーと過ごす (ホームステイ)	○	○	○
9	3/19 (月)	ボストン近郊	専用バス	午前 午後	地元の Wayland Highschool を訪問 授業参加 昼食交流 ボストンにある日系企業訪問 Dana Farber ガン研究所(今村裕医師、病院 ボランティアの方等2名より講話、施設見学) (ホームステイ)	○		○
10	3/20 (火)	ボストン	地下鉄	終日	班別によるボストン自由行動 9時 Park Street 集合、 5時解散 グループごと希望する見学場所を訪問 (ホームステイ)	○		○
11	3/21 (水)	ボストン近郊 ボストン発 ニューヨーク着	専用バス DL1379 専用バス	午前 9:30 10:53	朝食後、ホストファミリーに別れを告げ、空港へ(国内線) DL1379 ボストン Logan 空港から NY La Guardia 空港へ 到着後、バスにてコネチカット州へ移動、イェール大学訪問見学(通訳は 3名 蛭子慶太さん、乙部延剛さん、北山未央さん) バスでホテルへ(ホリデイインミッドタウン) (ホテル)	○		ホ テ ル
12	3/22 (木)	ニューヨーク	専用バス	終日	朝食後、ニューヨーク市内見学 ガイドは清水夕佳さん (国連本部訪問後、車窓にてグラウンドゼロ、タイムズスクエア、ウォー ル街、エンパイアステイトビル、ブルックリン橋、ロックフェラーセンターな ど) 夕食交流 (NYで活躍している日本人下城近雄さん、カワイさんより、海外 で働くことや、彼らのサクセスストーリーを聞く (ホテル)	ホ テ ル		ホ テ ル
13	3/23 (金)	ニューヨーク	専用バス DL173	朝 13:55	ホテルチェックアウト後、専用バスにて空港へ JFK 空港着 出国手続き後、DL173 便にて成田へ向け出発 (ホテル)	ホ テ ル		機
14	3/24 (土)	成田着 成田発 長野市	専用バス	16:55 21:30	成田空港着 入国手続き後、専用バスにて長野市へ 長野駅到着後、解散	機		

2011（平成23）年度 海外（ボストン）語学研修報告

参加生徒 国際教養科1年34名 普通科1年6名 合計40名

生徒アンケートまとめ ★印は、職員による補足説明部分です。

1. 語学研修全般について

(1)長さについて 【a. 長い=1人(2%) b. ちょうど良い=30人(75%) c. 短い=9人(23%)】

(2)ホストファミリーについて

<プラス面>

- ・気遣いをとってもらってくれた。親切だった。優しかった。ユニークで良い意味で休み暇がなく楽しかった。
- ・温かい家庭で貴重な経験ができた。
- ・日米の文化を大切に(尊重)してくれた。
- ・母子家庭だったが、明るく迎えてもらいとても楽しく過ごせた。
- ・食事のとき沢山話gできた。日本にとっても興味を持っていてくれた。
- ・本当の家族みたいでよかった。仕事が忙しくても積極的に声をかけてくれた。
- ・他の留学生もいたので良い刺激になった。

2. 現地語学学校の英語の授業満足度

★1日に90分授業を、文法1コマ+読解1コマ 最終日に修了証書授与のセレモニーあり。

初日のプレイスメントテストによって、レベルは低い方から【3・5・5A・6・Academic】

【a. 良かった36人(90%) b. 良くなかった0人(0%) c. どちらも言えない4人(10%)】

<留学生との国際クラスについて>

- ・難しくてついて行けるか不安だったが、留学生に刺激されてがんばろうと思った。
- ・とても英語力がつく授業だった。
- ・留学生の積極性を学んだ。留学生に圧倒された。
- ・他の国の留学生と共に学べた。留学生の友達gできた。留学生とアドレス交換できた。昼食交流できた。
- ・日本人留学生もいて驚いた。(★国際クラスには日本の大学生が何人もいた。)

<授業スタイルについて>

- ・自分たちで授業を作るのでためになった。
- ・現地の授業は、生徒たちが積極的に発言していることがわかった。
- ・少人数クラスで環境がよかった。日本の授業との違いgわかった。
- ・自分のレベルにあっていた。テストによって自分にあつたレベルで分けられていた。

<改善面>

- ・もっと発言できたらよかった。言いたいことが上手く言えないから黙ってしまうのが残念だった。

3. 講演・大学院生や高校での交流について (Dana Farber ガンセンター、MIT、Wayland 高校、Yale 大学、ホテルでのビジネスマンとの夕食交流会)

- ・全てが自分の刺激になった。今後自分がどうしたいか見えてきた。
- ・自分の消極さを感じた。自分を見つめ直すことに繋がった。先の選択肢があることがわかった。
- ・世界レベルで活躍している方の話を聞き、今後の視野も広がった。
- ・自分の勉強に何が欠けているのか見えてきた。自分の今後の勉強の仕方を考えるきっかけとなった。
- ・自分はまだまだだと思った。とても刺激をうけた。自分ももっと勉強すべきだと思った。
- ・将来の道を見つけることができた。沢山の方から学べた。
- ・ガン研究所の今村先生の話がとてもよかった。(同意見多数)

4. 自由行動・観光について

- ・自分たちだけの行動で一人一人の責任感が強くなった。班長がまとめてくれた。
- ・自分たちで計画したので達成感が気持ち良かった。
- ・国連では考えさせられることが多かった。(★ロビーに東日本大震災の巨大パネルが展示されており、日本では報道されていない写真も多かった。)

5. 研修に行く前と後で、「英語学習について」の考え方や取り組み方で変わったことはありますか？

- ・英語に対して甘かった。もっと努力したい。英語を学ぶ意味がわかった。
- ・あえて不利な状況に自分を置くことで、必然的に英語が身に付いてゆくのを感じた。
- ・英語に対する考え方が変わった。読み書きだけではなく話せるようにならなければいけないと思った。
- ・目標を持って取り組むようになった。
- ・未知の世界を知って自分からやらねばと思った。努力をしないと何も生まれないと感じた。
- ・留学生の姿勢がすばらしく負けていられないと思った。意識や姿勢が変わった。
- ・日本語に訳さず直接理解できるようになりたい。短くても海外に出ることは大切。語彙の大切さも知った。
- ・今までテストのために勉強してきたが、考えが変わった。英語がもっと好きになった。意欲が上がった。
- ・徹底的に調べるようになった。
- ・文法よりも、伝えようとする意思が大切。何も反応しないと「何もしない」と言われてしまうから。
- ・せっかかわかるようになったから、その感覚を忘れないように目標を持って勉強するようになったのでやる気がでてきちんとやるようになった。
- ・分からない単語はすぐに調べたり覚えたい。例文を覚えようと思った。
- ・英語を聞くことへの抵抗がなくなったし、間違えてもいいから伝えたいことを話そうという気になった。
- ・積極的に授業に参加して、授業を作り上げていかなければいけない。
- ・英語は世界共通だから世界中の人と話せる。英語をきちんと身につけておかなければならないと思った。
- ・会話で自信が付いた。でもわからないとき悔しくて、この悔しさをバネにもっと頑張りたい。

6. この研修で自分にとってプラスになったことは何ですか？

<自己発見・悔しさ>

- ・大変なことも、悔しい思いも沢山したけれど、その分自分の実力を知ることができた。
- ・自分の弱点を発見できた。自分が無力であるということに気がついたこと。もっと勉強したい。
- ・沢山の話聞いて自分も頑張らなくてはという気持ちと自分は世界に対して何ができのかと改めて考えた。
- ・自分の弱さや間違いに気がついたこと。
- ・実際に言葉に出して発言しなければ意味がないということ。
- ・将来に向けて勉強しようと思った。自分の消極性やダメなところがよくわかった。

<積極性・やる気>

- ・挑戦すること、発言することをためらっていた自分に、本当にすべきことを気づかせてくれた。
- ・努力で人は変われると感じた。積極的になれた。何をしてもやる気が出た。

- ・積極的に行動すること。積極的にコミュニケーションを図ろうとすること。
- ・アメリカの高校生は明るくてすごく積極的。ネガティブな性格からポジティブに考えるようになった。英語が伝わらないからと落ち込んでいられない環境を体験したからだと思う。
- ・人前に出るのが苦手だったが、気にせず、発言できるようになった。
- <世界観>
- ・世界から日本を見ることによってとてつもなく見方が変化した。
- ・日本の良さを改めて実感できた。
- <夢・将来の展望>
- ・将来の夢を見つけることができた。いろんな立場の人に出会い、物の見方が変わった。
- ・夢が持てたこと。
- <語学力>
- ・コミュニケーション力、度胸や自信がついた。

7. この研修で困ったことや、改善したほうが良い点があれば書いてください。

- ・特になし。(9割)

<英語について>

- ・日本人で行動するときに(日本語を使ってしまって)自分が英語を話さなかったこと。
- ・もっと英語を勉強してゆけばよかった。
- ・日本にいるときに発音にもっと気をつけていればよかった。

<他>

・ガイドブックを事前に買っておけばよかった。ガイドブックを自分で持って行けば何倍も楽しめるので、ぜひ持って行ったほうがいい。

- ・ISAの佐藤さん(ガイドの女性)の話がとても良かったので全員で聞けたらよかった。

<ホームステイについて>

- ・日本語を使えない環境にしないとアメリカに行った意味がない。ホームステイは1人を挑戦すればよかった。
- ・最初食べ物が多くて断れなかった。でも最後は自分の意見を言えるようになった。

8. 研修全般の満足度

【a. とても良かった35人(88%) b. 良かった5人(12%) c. どちらともいえない0人(0%)
e. あまりよくなかった0人(0%)】

9. 意見、要望

- ・とても充実した研修だった。自分たちだけで地下鉄とバスで通学したことがよかった。
- ・お世話になった皆さんに深く感謝しています。

事後オリエンテーションの様子

学んだこと、自分の変化、さらなる目標などを書き、最後に将来の自分のイメージとその自分になるためのアクションプランを全員の前で自ら挙手して発表。涙ながらの発表会となり、生徒の大きな成長の姿が見られました。

H23 年度 ポストン語学研修 思い出のスナップ集



ポストン市 レジスカレッジ前



ポストン市 レジスカレッジ中庭



留学生との授業風景



ポストン美術館 見学しました



Wayland 高校での授業に参加



Wayland 高校訪問 校長先生と



毎日通学に使ったポストンの地下鉄



マサチューセッツ州議事堂



マサチューセッツ工科大学 見学ツアー



留学生との授業風景



Dana Farber ガンセンター 今村医師の講演



毎日使った通学用バス



NY 国連本部 会議場



国内線でボストンからNYへ



NY 国連本部 「発射不能の銃」モニュメント前



コネチカット州 イェール大学見学ツアー